

# ～在宅支援SNSによる情報共有～

平成24年・25年度 在宅医等相互支援体制構築事業(浅草医師会)

平成26年度 在宅医等相互支援体制構築事業(渋谷区医師会)

# 在宅医療で必要な情報共有

- ①患者さんに関わる多職種スタッフ間の情報共有
- ②連携している複数医療機関どうしの情報共有

- 異なる組織に属する複数メンバー間の情報共有。  
↓ ↓ ↓ ↓
- グループウェアによる情報共有が有用と思われる。

# グループウェアによる情報共有

- 複数メンバー間の情報共有手段として優れている。  
※1対1の情報伝達(電話・FAX・メール)と比較して…
- グループウェアの基本機能は共通している。  
※グループ・トピックス・カレンダー・共有ファイル・メッセージ
- 情報共有の中心はトピックスでのコメントのやりとり。  
※「掲示板」や「連絡ノート」と似たようなシンプルなもの。
- ★ 電子カルテや画像データを共有する医療系ICTとは全く別のもの。

# 汎用SNS と 在宅支援用のSNS

汎用SNS (OpenPNE・サイボウズlive 等)



在宅医療用に使いやすく、不慣れな人にも使にやすく



在宅支援SNS

# 在宅医療用にカスタマイズした機能

- ★一般グループと患者名グループの機能分化(2種類のグループ)
- ★患者名グループ作成機能 (フォーム入力・一定書式のグループ)
- ★患者名グループへのメンバー登録機能(簡単に登録)
- ★患者データベース機能 (一覧表表示・検索・抽出・並べ替え)
- ★時刻表示アイコン足跡機能 (誰が何時コメントを読んだか確認)
- ★未読コメント表示機能 (メール通知と共にログイン画面トップに表示)
- ★スマートフォン対応 (PC苦手の人・外出先や訪問先で利用)
- ★トピックス・コメント・ファイル検索(SNS全体からフリーワードで)
- ★トピックスの公開範囲設定機能(コメディカル・連携医師・病院医師)
- ★複数医師会で共同運用するためのカスタマイズ(医師会毎の管理者)

# 患者名グループによる情報共有

## ■情報共有するメンバー

- ①患者さんに関わる多職種スタッフ  
(看護師・ケアマネ・薬剤師・理学療法士・・・その他)
- ②連携している医療機関の医師

## ■情報共有する内容

- ・訪問時の報告・問題点の検討・治療方針・検査結果・各種画像
- ・処方内容・病院の情報提供書・スケジュール・ケアプラン・・・etc.

# 連携医グループによる情報共有

## ■情報共有するメンバー

- ・連携して在宅医療を行っている医師

## ■情報共有する内容

### ①各医療機関の患者さん情報の共有

- ※「患者名グループへ登録」する事で患者さん情報が共有される。
- ※「●●クリニックの患者さん情報」というトピックスでも情報共有。

### ②各医師の不在日情報と当番日の調整

- ※「共有カレンダー」に不在日を記入して当番日を調整。
- ※「連携の日程調整」というトピックスでも当番日を調整。

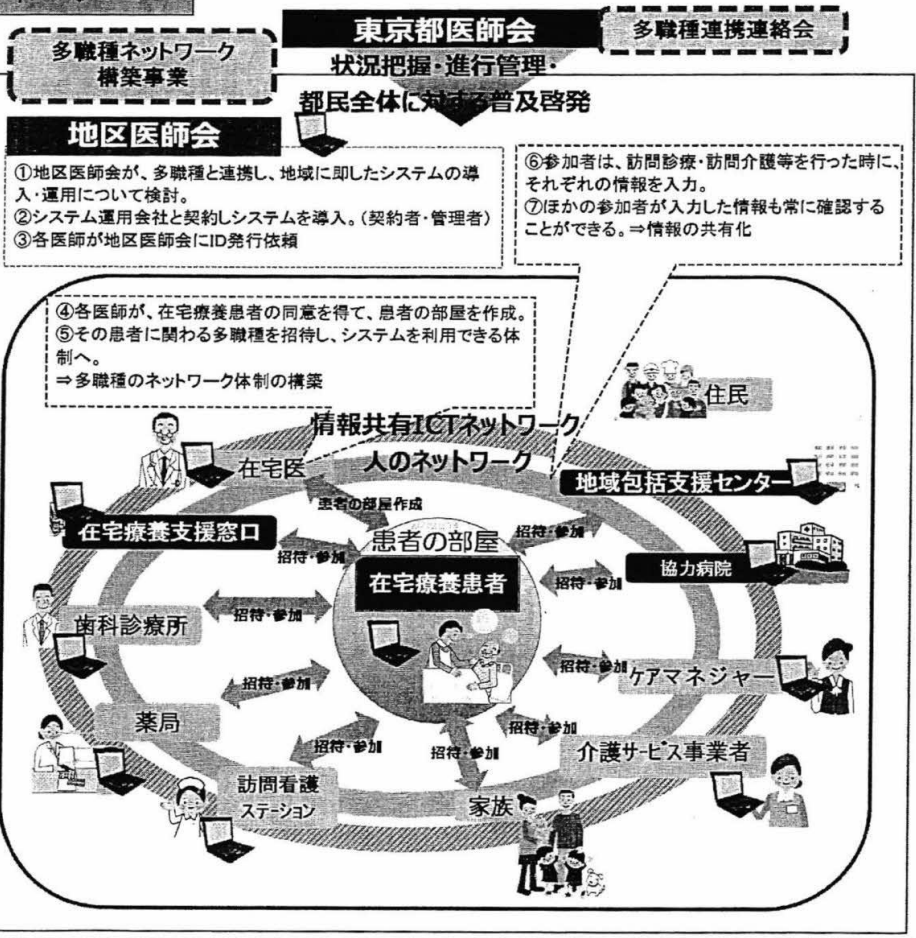
### ③その他の連絡事項・協議事項

# 在宅療養推進基盤整備事業

## 目的

地域包括ケアシステムにおける在宅療養について都民の理解を深めるとともに、医療と介護が連携し、ICTネットワークの活用等により効果的に情報を共有し、在宅療養患者を支える体制を整備する。

## イメージ



平成28年度までに、全ての地区医師会での実施、  
 平成29年度までに、安定的な運用を目指す



## 地区医師会がバラバラにグループウェアを導入すると・・・

- 複数の医師会に隣接する境界地域の事業所は困ったことになる。
- 多くの地区から患者さんの集まる大きな病院の医師も同様である。
- 医師会毎に作ったり契約したりするのはお金の無駄と思われる。
- 基本機能はシンプルなので医師会毎に作っても大きな違いはない。



- 出来れば隣接医師会は同じグループウェアを共同利用するのが良い。

# 在宅支援SNSの共同利用について

～なるべく多くの地区医師会で使って頂きたい～

- ・ 東京都の補助金で作ったものなので広く都民のために使うべきもの。
- ・ 汎用のSNSを在宅医療用にカスタマイズした標準的なSNSである。
- ・ 特定の電子カルテや業務ソフトとの関係がなく共同利用に適している。
- ・ 既にカスタマイズが済んでいるのでサーバー費用だけで低コスト。
- ・ 在宅医療に関わる多職種メンバーの交流や情報交換ができる。